



やさしいところ (思いやり Caring)

正直なところ (誠実さ Honesty)

がんばるところ (責任感 Responsibility)

大切に思うところ (尊敬心 Respect)

2017年8月1日

幼保連携型認定こども園

YMCA 保育園

8月えんだより

8月の聖句： 「しかし、必要なことはただ一つだけである。」

ルカによる福音書第10章42節

空を見上げ、入道雲や峰雲を目にすると、いよいよ夏本番と感じます。今年も大雨による大きな被害が発生しました。被害を受けられた方々にお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈りします。

さて、夏を迎えた園では、暑さに負けず、外で汗を一杯かいて園舎へ帰ってくる姿や水遊びをして、大はしゃぎの子ども達の様子が見られます。夢中になる子ども達の姿は、本当に素敵な表情です。探求して考える、想像して試してみる。また、楽しさを体全体で表現する。・・・このような繰り返しが、子ども達の一つ一つの力になっていくのだと感じられます。

子ども達が育つには、色んな課題と直面して、心で感じて、自らが考えて行動してみる、そして、周りのお友だち等から話を聴いて、時には批判も受けて、又新たな課題に直面する繰り返しが必要です。言い換えれば、問題が起きた時こそ、成長する機会であるといえます。ゆえに、子どもが育つには、大人は「待つ」ことがとても大切であることが分かります。しかし、そうは言うものの、時間の制約がある中で生活しますと、頭では分かっている、できないのが現状です。自分で鞆を片付けようとしている時に「まだやっていないの?」と言ってしまい、考えている傍から「何でわからないの?何がわからないの?」とついつい口を挟んでしまうことは、私も何度も繰り返し、自省する日々を過ごしました。

「何が正しいことでしょうか?」今月の聖句は、私達に問いかけています。礼拝の時、隣同士になった子ども達が言い合いになり、その場から離れて先生と話をしています。言い合いになった経緯を聴いた先生が問いかけます「今は、何をやる時でしょうか?」と。クラスという集団は、小さな社会ですから、色んな出来事が起きます。行いに注意を払うだけではなく、何が正しいことなのか?を忘れてはいけません。

「神様ならどうするのでしょうか?何といわれるのでしょうか?」私の思いや心を、少し横において見て、空いたスペースで神様ならどうするのか?と考えてみると、私たちは新たな一面を気づき、成長につながる糸口が見つかるのではないかと感じます。

年主題 「愛されて育つ」

年主題聖句 「あなたがたは神に愛されている子どもです。」 エフェソの信徒への手紙第5章1節

8月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	たのしい	たのしむ
月の願い	*夏の生活をゆったり健康に過ごす *周囲の人やモノとふれあい、興味を広げる	*平和を考え、願い、共に祈る *家族や保育者とゆったりとした時間を過ごす。 *夏の遊びを大胆に楽しむ
讃美歌	ちから 幼児讃美歌Ⅱ 15	うみでおよぐ 幼児讃美歌 28